

宮陵会報 2013・7

# Kyuu-Ryoo

No.96

発行責任者  
 一般社団法人  
 神奈川大学宮陵会  
 広報委員会

〒221-0802  
 横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
 神奈川大学内

TEL 045-481-5661  
 (内線 2451~3)

FAX 045-413-0791

印刷所 株式会社 江森印刷所

## 次世代へ進化する神奈川大学!



湘南ひらつかキャンパス  
13号館



平成26年2月完成

湘南ひらつかキャンパス  
12号館



横浜  
キャンパス  
新3号館



Contents  
No.96



- 平成 25 年度定時総会開催される…………… 2
- 第 1 回全国地域組織代表者会議が開催…………… 3
- 準会員ニュース - 世界に挑む - …………… 4
- 全日本大学駅伝本選出場ならず…………… 5
- 平成 24 年度 決算・財務諸表…………… 6
- 本部だより・地域組織だより…………… 7
- 大学ニュース・課外活動団体合宿一覧…………… 8

### 横浜キャンパス新3号館、現在建設中 本年3月に湘南ひらつかキャンパス 12・13号館完成

学校法人神奈川大学将来構想に基づく横浜キャンパスマスタープラン(施設設備計画)第一段階の新3号館建設工事。来春完成。省エネルギーや環境に配慮したエコ・キャンパスで地中熱利用の空調システム、太陽光発電を利用した照明設備、屋上緑化等、神奈川大学の特許である地震・振動対策技術「座屈拘束ブレース」を採用。

湘南ひらつかキャンパスに本年3月、研究棟・演習室が完成しました。









# 準会員 NEWS

## 安田あとり選手

### ボルダリング ワールドカップ出場



私は小学校5年生の時にクライミングを始め、6年生の時に初めて出場した小さな大会をきっかけに、競技としてのクライミングにはまっていきました。そしてずっと目標としてきたワールドカップに高校生の時に出場し、そこで見たワールドカップ決勝の舞台は、とてもカッコよく、ファイナリストは全員キラキラ輝いて見え、私は決勝の舞台で登ることを最大の目標として、勉強以外の時間をすべてクライミングに費やしてきました。

去年の11月に神奈川県で開催された大学生クライミング大会を見つけたことが神奈川県大学を目指す大きなきっかけとなりました。クライミングに理解があり、活動を盛んにしている、なおかつ前から興味があったスポーツビジネス

が学べる大学であり、まさに私が探していた環境でした。無事に神奈川県大学に入学することができ、私は山岳部に入学しました。先輩方は温かく迎えてくれ、同期の部員も多く集まり、部屋に行くのがひとりの楽しみになりました。

6月1、2日にカナダ・トロントで、6月7、8日にアメリカ・ヴェイルでワールドカップに出場しました。去年は同大会で予選通過を目標としていたのですが、両大会とも予選敗退してしまいました。大学に入学し、親元を離れた新たな生活の中でうまく練習のリズムが作れなかったことが敗因ではないかと思えます。今まで通っていたホームジムを離れ、練習場所を模索しながらのトレーニングで、練習を確実なものへと繋げることができませんでした。

この二大会に参加するにあたって、山岳部員の皆さんをはじめ、監督、OB、OGの多くの方に応援していただきました。壮行会を開いていただいたり、監督の落合さんは現地まで応援に駆け付けてくれたりと、とてもうれしく、心強かったです。OB、OGの方には経済的な援助をいただきとても助かりました。神奈川県大学に入らなかつたらワールドカップに出場することはできていなかったと思います。たくさんの応援、支援によって、私は支えられているのだと強く感じました。

惜しくも最終候補には残れませんでした。オリンピック追加候補競技に選ばれ、近頃クライミングは有名になってきました。テレビや雑誌などでも取り上げられ、ブームになりつつありますが、まだまだマイナースポーツです。日本代表に選ばれても遠征費は自己負担となり、本チームには監督やトレーナーもいません。自分でコーチやトレーナーを探して、練習メニューから遠征日程まで、すべてのことを個人で決めているというのが現状です。

私はこのようなクライミング界の現状を変えたいと思っています。認知度を上げることやトレーニングやケアの方法の確立、協会やシステムの整備、ビジネスとしてのクライミングなど、多くの課題があります。今の私にできることは学ぶこと、そして世界を目指すことだと考えています。私が世界で活躍することでクライミングの魅力をもっと多くの人に伝えていけるからです。また、課題を解決していくためには、スポーツや、社会のシステム、マーケティングやビジネスについてなど、多くのことを学び、私自身がクライミング界を変えていけるような知識を持つことが必要だと感じました。世界を見て、経験し、クライミングの先進国から学び、これからの日本に生かしていくこともできると思います。

これらを実現するには神奈川県大学で多くのことを学び、山岳部で練習に励むことが多くできる最善の方法だと思っています。強い意志を持ち

学業とクライミングを両立していきたいです。感謝の気持ちを忘れず、これからも更なる高みを目指して日々成長していきたいと思えます。(人間科学部1年 安田あとり)

## 阪部創選手 2013年 ジュニアアジア選手権大会 グレコローマンスタイル74kg級 日本代表として出場

私は、6月13日〜16日にタイ・プーケットで行われた、2013年ジュニアアジア選手権大会にグレコローマンスタイル74kg級日本代表として出場しました。海外での試合は初めてで、不安もある中で戦ってきました。

6月10日、成田空港を出発し約8時間をかけてプーケット空港に到着しました。タイは湿度が多く、気温も高いのでとても暑かったです。食事はとても美味しかったのですが、過ぎないよう注意していました。私の試合は、13日から始まったので、それまでの間は、体重調整とコンディショニングを行いました。試合前日の12日にメデイカルチェックと計量がありました。美味いものの誘惑にも負けず問題なく終えることができました。

組み合わせは、計量時にくじ引きで決まり、私の階級は12名出場で、1回戦は無く、2回戦タジキスタンとの試合となりました。13日から予選が始まり、1ピリオドは、自分がコーション(警告により1点)を取り、1ポイントを獲得しました。1ピリオドが終わって、2ピリオドが始まり、自分から前に出て攻め続け、再度コーションを取り、結果として2対0で勝つことができました。

続く、準決勝は、カザフスタンの選手と対戦しました。1ピリオドに投げ技を決められ、3ポイントを取らせてしまい、そのまま相手の7ポイント差がつき、テクニカルフォール(6点差が付くと試合終了)で負けて悔しい思いをしました。しかしながら、そのカザフスタンの選手が決勝に進出したため、私は3位決定戦への進出が決まりました。まだ運があると実感し、気合いをいれ直して挑みました。

3位決定戦の相手は、強い中国の選手との戦いとなりました。内容は、1ピリオド目にコーションを取り、4ポイントを取って、その後優位に進めて3ポイントを取り、テクニカルフォール勝ちし、3位に入賞することができました。



初めての海外試合でメダルを獲得できたのはとてもうれしく、それと同時に、自分自身の課題も見えました。1点目は海外の選手はスタミナが無いので、後半は動きが悪くなることとみられるので、もっと外国選手にも負けられないパワーを意識して付けていくこと。2点目は攻撃面で、自分から積極的に攻めていき、相手の体力を消耗させながら自分のペースで試合を運べるようにしないといけないこと。また、場面に応じて仕掛けられる技を多く覚えることも必要であると痛感しました。

日本の選手は、手を少し前に出して戦うため、投げ技や腕取りなどの技に掛かりやすいのですが、優勝したカザフスタンの選手は、手はあまり出さず、胸を突き出して戦っていたことなどが印象的でした。

日本の選手と外国の選手とでは戦い方が違うので、このようなところも対応できるようにしないと海外では勝てないと感じました。今回、アジアジュニア選手権大会に出場し、外国の選手の戦い方や、自分の足りないところが明らかになったので、これからの取り組みとしても良い経験となりました。これまで以上に練習や経験を重ねれば、海外の試合でも必ず優勝できると強く感じました。

これから、この経験を大いに活かし、人一倍練習に励み、まずは今夏のインカレに優勝すること。そして、12月の日本最高峰大会である天皇杯全日本選手権大会でも優勝し、世界で戦えるような選手になりたいと強く思っています。これからも応援よろしくお願ひいたします。(経営学部2年 阪部 創)



# 2年連続の本選出場ならず… 秩父宮賜杯 第45回全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会 12位で本選出場権獲得を逃す

平成25年6月30日(日)に国立霞ヶ丘競技場(大塚ヶ谷)において、秩父宮賜杯第45回全日本大学駅伝対校選手権大会関東学生陸上競技連盟推薦校選考会が行われた。

この選考会は、関東学連が11月に行われる本選の出場推薦校を選考するものであり、各校8名の選手が2名ずつ4組に分かれて1万mを走り、総合タイム上位7校の出場枠を争う大会である。本学陸上競技部駅伝チームは、2年連続出場を獲得するために挑んだ。

1組目先陣を切ったのは、柏部孝太郎選手(3年)と南俊輔選手(2年)。両選手は、昨年度5組目のオリーブレーンに参加しただけに、雪辱戦に期待がかかる。序盤、大集団やや後方に位置し様子をうかがっていたが、柏部選手が徐々に上位に浮上し一時先頭に立つ。終盤8kmから他大学の選手が一気にペースを上げると集団も崩れ始め、両選手とも先頭集団後方まで順位を下げてしまうが、柏部選手は30分31秒95で21着、南選手は30分54秒52の27着でゴール。この地点で総合13位と一歩出遅れてしまう。

挽回するべく2組目は、柿原聖哉選手(3年)と当日エントリー変更となった主将の井上雄介選手(3年)が出場。中盤まで両選手ともに集団後方で様子をうかがっていたが、柿原選手が積極的に先頭に出てレースの主導権を握ると、井上選手はペースアップについていけず徐々に遅れ始めてしまう。終盤一気にペースが上がると先頭争いをしていく柿原選手も遅れだしてしまいが、一方、井上選手は終盤追い上げを見せ、集団からこぼれてくる選手を拾っていく。結局柿原選手は30分24秒48の15着、井上選手は30分36分66秒の20着でゴールし、順位を2つあげ11位とした。

3組目は昨年1組目で活躍を見せた赤松宏樹選手(3年)と初出場の永信明人選手(2年)が出場。この組で少しでも7位のチームとの差を縮めたいところだが、1、2組目までは明らかに異なり序盤からハイペースでレースが進んだ。両選手ともに序盤から集団前方に位置し積極的に先頭を争うが、初出場の永信選手は中間点を待たずに集団から遅れてしまう。赤松選手も何とか順位を上げるべく積極果敢に先頭を追うが、終盤を待たずに先頭争いから離脱して

しまう。永信選手は30分51秒84の34着、赤松選手も後半挽回することができず30分55秒77の37着でゴールとなり、順位が15位となってしまった。いよいよ各校エースが揃う4組目は、2年生コンビ我那覇和真選手(2年)と西山凌平選手(2年)が出場。厳しい戦いになってしまったが、プライドをかけて各校エースと戦ってもらいたい。最終組だけあってペースが一段と速く、大集団が縦に伸びてレースが展開する。両選手とも集団中盤につけ終盤を迎えるが、8km付近からペースが上がり西山選手は集団から離れていく。一方、我那覇選手は最後まで日本人選手でトップ争いを繰り広げ、29分10秒87の5着でフィニッシュ。西山選手も必死の追い上げを見せ29分26秒27の13着でレースを終えた。



## 平成 25 年度 吹奏楽部の地方公演について

神奈川大学吹奏楽部は、全日本吹奏楽コンクールにおいて通算24回の金賞受賞をしています。また、海外における演奏活動においても高い評価を得ており、昨年6月には、ドイツのベルリンフィルハーモニーホールでの単独自主公演を成功させ、チェコのスメタナ音楽祭では吹奏楽団として初出演を果たすなどの活躍をしています。

その吹奏楽部ですが、平成24年9月に「鹿児島・熊本特別公演」、平成25年5月に「出雲・福岡特別公演」を行いました。この特別公演は、神奈川大学が主催となり、宮陵会関係者のみならず各地の吹奏楽ファンの方に是非とも演奏を聴いていただくことと企画しているものです。この企画には、ご当地の宮陵会の方々にも多大なご協力をいただきながら行っております。

鹿児島は、宝山ホールに1,060名、熊本は、熊本県立劇場に1,120名、出雲は、出雲市民会館に936名、福岡は、アクロス福岡に1,077名の来場があり、出雲公演は地元紙への掲載もあつたと聞いています。

また、これらの神奈川大学主催のものとは別に、吹奏楽部が主催となり、独自の「ひたちなか特別公演」、「銚子特別公演」も平成25年7月に行っています。こちらは、吹奏楽部から宮陵会の方々への協力依頼があったようです。

我々からみると、特別公演として同じもののように捉えがちですが、大学主催の場合は、基本的な経費、広報活動などの様々な手続きは、大学が面倒をみています。一方、吹奏楽部が主催の場合は、経費や広報活動なども含め、全てが学生主体のものとなります。いずれの場合においても公演の時期、会場を決めるにあたっては、吹奏楽部学生諸君の年間の活動計画や授業などに支障がでるだけ出ないよう調整をしながら行っているようです。また、会場の確保については、1年から2年前の予約が通常であることから、会場と日程の調整では苦労がたえないようです。

近年、吹奏楽の特別公演を是非我が地元へのお話を宮陵会の方から宮陵会本部にいただくことがあるようですが、これまで述べたように大学主催の場合と吹奏楽部主催のものがあることや日程、会場確保の諸事情により、なかなかご期待に沿うようにいかないことをご理解いただければ幸いです。

その一方、もし地元での公演が決まった場合には、是非ご家族連れで、吹奏楽部の演奏を堪能していただくとともに、神奈川大学及び神奈川大学吹奏楽部を地元にご案内いただきご協力をお願いできればと考える次第です。

### 平成 24 年度貸借対照表総括表

平成 25 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

科 目	一 般 会 計	奨学金運用特別会計	合 計
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現 金	392,588	0	392,588
普 通 預 金	21,001,725	42,726,735	63,728,460
振 替 貯 金	265,000	10,000	275,000
定 期 預 金	30,000,000	80,000,000	110,000,000
貸 付 金	0	39,176,462	39,176,462
流動資産合計	51,659,313	161,913,197	213,572,510
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	3,000,000	0	3,000,000
基本財産合計	3,000,000	0	3,000,000
(2) 特定資産			
定 期 預 金	177,203,577	0	177,203,577
有 価 証 券	0	0	0
出 資 金	10,000	0	10,000
特定資産合計	177,213,577	0	177,213,577
固定資産合計	180,213,577	0	180,213,577
資産合計	231,872,890	161,913,197	393,786,087
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預 り 金	161,303	0	161,303
預 り 賛 助 金	186,000	0	186,000
前 受 金	21,000	0	21,000
流動負債合計	368,303	0	368,303
負債合計	368,303	0	368,303
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	231,504,587	161,913,197	393,417,784
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(177,213,577)	(0)	(177,213,577)
正味財産合計	231,504,587	161,913,197	393,417,784
負債及び正味財産合計	231,872,890	161,913,197	393,786,087

### 平成 24 年度決算について

- 大学主催事業への協賛等として 530 万円／大学公開講座、ホームカミングデー等への協賛金として充当されています。
- 給付奨学金として①給付奨学金(学部生) 300 万円 ②大学院給付奨学金(大学院生) 500 万円／24 年度は学部生 11 名、大学院生 12 名へ給付しました。
- 「米田吉盛教育奨学金」募金への指定寄付 2,000 万円／給費生を始め各種給付型奨学金制度の充実が図られています。
- 東日本大震災罹災学生支援の指定寄付 1,000 万円／罹災学生の学費減免や経済的支援、東北ボランティア駅伝(学生・教職員で構成される被災地支援活動)活動費等に充当されています。
- 支部等活動助成 1,092 万円／地域組織(旧支部)総会開催時の助成、ブロック会議開催費助成、お祝金、総会への出張費他。
- 会費振込用紙送付等 571 万円／会報(夏号)を同封し、送料は広報費と按分(会費振込用紙・会報の発送費は 1,341 万円)。
- 会誌および会報(年 2 回および新入生用)印刷費 502 万円 発送費 2,163 万円／会誌は正会員のみ、会報は住所判明者全員に送付。
- 法人移行準備費 1,323 万円／住所判明者全員に平成 24 年度定時総会通知として法人移行に伴う資料を送付。その他に一般社団法人への移行に伴う諸手続き、製作物(会旗、封筒、印章等)、環境整備等。代議員選挙については、候補者が定員数を超えなかったため選挙(投票)は未実施。
- 奨学金運用特別会計  
奨学貸付金回収 2,641 万円  
奨学貸付金(新規) 2,164 万円(76 件)  
※平成 23 年度の貸付金(新規)は 104 件 2,904 万円。  
神奈川大学の給付型奨学金制度の充実も一助となり、貸与奨学金の申込者は減少傾向にあると考えられます。

### 平成 24 年度正味財産増減計算書総括表

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

科 目	一 般 会 計	奨学金運用特別会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
財産運用益	221,137	0	221,137
受取会費収入	119,471,000	0	119,471,000
奨学貸付金回収	0	26,411,188	26,411,188
一般会計繰入金	0	0	0
雑収入	687,800	335,239	1,023,039
経常収益計	120,379,937	26,746,427	147,126,364
(2) 経常費用			
事業費	130,338,552	0	130,338,552
貸与奨学金事業費	0	21,640,000	21,640,000
管理費	30,710,867	0	30,710,867
経常費用計	161,049,419	21,640,000	182,689,419
当期経常増減額	△ 40,669,482	5,106,427	△ 35,563,055
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	4,771,188	4,771,188
経常外費用計	0	4,771,188	4,771,188
当期経常外増減額	0	△ 4,771,188	△ 4,771,188
当期一般正味財産増減額	△ 40,669,482	335,239	△ 40,334,243
一般正味財産期首残高	272,174,069	161,577,958	433,752,027
一般正味財産期末残高	231,504,587	161,913,197	393,417,784
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	231,504,587	161,913,197	393,417,784

### 平成 25 年度収支補正予算書総括表

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで (単位：円)

科 目	一 般 会 計	奨学金運用特別会計	合 計
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
財産運用収入	151,000	0	151,000
会費収入	115,370,000	0	115,370,000
貸付金回収	0	19,000,000	19,000,000
一般会計繰入金	0	0	0
雑収入	400,000	30,000	430,000
事業活動収入計	115,921,000	19,030,000	134,951,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	125,524,000	0	125,524,000
貸与奨学金事業費支出	0	35,000,000	35,000,000
管理費支出	41,686,000	0	41,686,000
事業活動支出計	167,210,000	35,000,000	202,210,000
事業活動収支差額	△ 51,289,000	△ 15,970,000	△ 67,259,000
<b>II 投資活動収支の部</b>			
投資活動収入	49,000,000	16,000,000	65,000,000
投資活動収入計	49,000,000	16,000,000	65,000,000
投資活動支出	2,200,000	0	2,200,000
投資活動支出計	2,200,000	0	2,200,000
投資活動収支差額	46,800,000	16,000,000	62,800,000
<b>III 予備費支出</b>	46,802,010	0	46,802,010
貸付金充当	0	161,943,197	161,943,197
合 計	46,802,010	161,943,197	208,745,207
当期収支差額	△ 51,291,010	△ 161,913,197	△ 213,204,207
前期繰越収支差額	51,291,010	161,913,197	213,204,207
次期繰越収支差額	0	0	0



本部だより

■会議予定等

理事会 9月14日(土)
11月30日(土)
1月25日(土)
3月8日(土)

■解 散

みやも電華会

■新代表者紹介

港南区宮陵会
横浜北宮陵会
写真研究部OB会
41機 小田 晃治
38工経 庄 子
40工経 森 隆司

■計 報
謹んでお悔やみ申しあげます

東丸 親弘殿(19工経)
平成25年4月ご逝去 元徳島支部長
岩崎 幸雄殿(20経)
平成25年5月2日ご逝去 前南区支部長
島田 満潮殿(26・28法)
平成25年6月6日ご逝去 元理事
田島 真幸殿(34機)
平成25年6月12日ご逝去 前八王子支部長
皆川 潔殿(31工経)
平成25年6月29日ご逝去 参与、元副会長

平成25・26年度役員一覧

■理事 20名

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 卒年, 学科. Lists 20 members including 狩野 七郎, 宇野 峰雪, etc.

■監事 3名

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 卒年, 学科. Lists 3 members: 三縄 昭男, etc.

表彰者芳名

■功労表彰(表彰規程第2条第2号該当)

【本部関係】

大澤 武法氏
昭和35年法経学部経済学科卒業
元専務理事・理事・代議員会副議長

武笠 健次氏

昭和41年法学部法律学科卒業
元副会長・専務理事・理事・
代議員会議長・組織委員長

瀬尾 博氏

昭和43年経済学部経済学科卒業
元理事・組織委員長

澤木 武美氏

昭和47年経済学部経済学科卒業・
昭和52年経済学研究科経済学専攻修士課程
修了
元理事・準会員委員長

【支部関係】

野道 昭三氏

昭和25年専門学校一部貿易科卒業
元神奈川区支部支部長・副支部長

■感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)

【支部関係】

鈴木 英司氏

昭和37年法経学部経済学科卒業
札幌支部支部長

山内 俊一氏

昭和38年工学部電気工学科卒業
元秋田支部副支部長・幹事

東 恒夫氏

昭和42年経済学部経済学科卒業
元石川支部支部長・副支部長

川崎 大三郎氏

昭和36年法経学部法学科卒業
元京滋支部支部長

塚田 幸男氏

昭和33年短期大学部機械科・
昭和40年工学部電気工学科卒業
元藤沢支部幹事

武井 正人氏

昭和35年法経学部貿易学科卒業
元藤沢支部幹事

目黒 英昭氏

昭和37年法経学部経済学科卒業
元藤沢支部幹事

●●●鳥取県伯耆支部の活動紹介●●●

―出雲駅伝出場 復活に期待して―

伯耆支部は、米子市・境港市・日野町・大山町・伯耆町・日南町・南部町・日吉津村に在住する卒業生212名で組織しています。支部長の安達清氏(46電気卒)はご子息二人も神大卒と神大ファミリーで親子二代会員でもあります。支部長を中心に年一回7月に総会、中国ブロック会議の参加、新年互礼会(箱根駅伝の報告会)、役員会などの定例行事を行っています。支部会費の払い込み者は50名と少ないため、新たな会員の参加を促す努力をされており、年に一度の総会には、卒業生の講話を平成20年から取り入れています。支部設立20周年の平成20年は、箱根駅伝の優勝時ランナー岩原正樹さん(平11経済卒)の「箱根駅伝を走って」から始まり、翌年は山陰の元気企業・どら焼き世界一の丸京製菓鷺見浩生社長(58工経卒)、22年は地元日南町の増原聡町長(54法卒)が「元気な町づくりを目指して」のテーマで鳥取県西部で一番広い町ながらも、在宅医療の取り組みで町の財政を立て直した事例などを講演されています。今年度は山陰中央新報社米子総局長の青山明弘氏(55経済卒)による「地方新聞の役割」と題して、本人が苦勞して企画した読者目録でのミニ情報の発信紙面の創設、新たな試みの発想から定着するまでの話などを熱弁されました。

ところで、伯耆支部と本学駅伝部との関係ですが、伯耆支部の発足は平成元年で、五年後の平成5年10月10日に本学駅伝部が「出雲くにびき全日本大学招待ロードリレー大会」に初出場しています。この折に、伯耆支部の皆さんが応援指導部とチアリーダー部の学生たちを支部をあげての歓迎会に招きました。そして翌日の競技会場へはバスを仕立てて応援に駆けつけてくれました。これ以降、鳥根県支部が創設されるまでの間は、学生たちとの交流が続き、合わせて陸上競技部OB会や選手父母と大学関係者が一体となり、当時の浜山公園陸上競技場で一大応援を繰り広げて話題になりました。特に、最後のランナーがゴールするまで応援し続けた神大応援指導部に、主催者から学生らしい応援に感激し、これが学生スポーツの精神と言わしめたこと後に関係者が明かしてくれました。

出雲駅伝に名称が代わってから優勝候補に名を連ねることがたびたびありましたが、準優勝2回の成績を残した後は、平成17年大会12位から箱根駅伝の成績による選考から外れて久しく途絶えています。来年こそは、箱根駅伝のシード権内に入賞し、秋晴れの爽やかな出雲路を走ってもらい、地元の熱烈な応援が繰り広げられるよう期待したいところで



地域組織だより

◆今後の支部総会開催予定

8月24日(土) 因幡支部総会
9月7日(土) 北海道ブロック会議 苫小牧大会
九州ブロック会議 熊本大会
大連支部総会
9月14日(土) 岐阜支部総会
9月21日(土) 静岡西部支部総会
10月6日(日) 奈良支部総会
10月26日(土) 北陸ブロック会議 富山支部総会
11月2日(土) 山形支部総会
11月9日(土) 四国ブロック会議 香川支部総会
宮城支部総会
11月16日(土) 東北ブロック会議 岩手支部総会

## 平成25年度 課外活動団体 夏季合宿予定

平成25年7月12日現在

団 体 名	日 程	実施場所	施 設 名
合気道部	8月8日(木)~14日(水)	長野県	山八旅館
アメリカンフットボール部	8月11日(日)~15日(木)	山梨県	山中湖総合合宿センターさくすい
弓道部	8月29日(木)~9月5日(木)	千葉県	山武荘
剣道部	8月21日(水)~27日(火)	秋田県	森岳温泉ホテル
ゴルフ部	8月19日(月)~22日(木)	長野県	軽井沢72ゴルフ場
	9月2日(月)~5日(木)		
	9月9日(月)~12日(木)		
女子サッカー部	8月20日(火)~25日(日)	東京都・茨城県	鹿島ハイツ・アミノバイタルフィールド
山岳部	8月3日(土)~13日(火)	長野県	北アルプス山城
	9月3日(火)~5日(木)	神奈川県	大山山城
水泳部	8月7日(水)~17日(土)	静岡県	新居中学校
スキー部	9月16日(月)~19日(木)	山梨県	リゾートイン愛
スケート部アイスホッケー部門	9月2日(月)~15日(日)	北海道	苫小牧市白鳥アリーナ
スケート部スピード部門	8月14日(水)~18日(日)	長野県	帝産アイススケートトレーニングセンター
	8月25日(日)~30日(金)		
	9月3日(火)~8日(日)		
軟式庭球部	9月6日(金)~10日(火)	山梨県	平和荘
男子バスケットボール部	8月5日(月)~16日(金)	北海道	稚内市少年自然の家
女子バレーボール部	8月24日(土)~27日(火)	新潟県	柿崎ドーム
男子ラグクロス部	8月7日(水)~12日(月)	山梨県	大國館
ラグビーフットボール部	8月16日(金)~22日(木)	長野県	菅平山本館
陸上競技部 (駅伝ブロック)	8月13日(火)~25日(日)	長野県	富士見高原研修所・ジェネス八ヶ岳
	9月7日(土)~15日(日)	長野県	ホテルこわしみず
陸上競技部 (短距離・中長距離ブロック)	8月7日(水)~12日(月)	長野県	リゾートロッヂスズモト
陸上競技部 (中長距離ブロック)	8月12日(月)~18日(土)	長野県	ジェネス八ヶ岳
レスリング部	8月4日(日)~17日(土)	東京都	味の素ナショナルトレーニングセンター
演劇部 M.A.P	9月12日(木)~15日(日)	東京都	武根館
管弦楽団	9月1日(日)~6日(金)	福島県	裏磐梯ライジングサンホテル
ギターアンサンブル部	8月23日(金)~28日(火)	新潟県	Hotel Cabu
混声合唱団 クールアンジェ	8月9日(金)~11日(日)	長野県	Eve ブラザ
将棋部	9月7日(土)~10日(火)	群馬県	かわはら
神大フェスタ	9月1日(月)~3日(火)	山梨県	伊予ロッヂ
放送研究会	9月10日(火)~12日(木)	長野県	砂弘温泉
マンドリンアンサンブル部	9月9日(月)~13日(金)	千葉県	民宿澤金

※横浜キャンパスおよび湘南ひらつかキャンパスでの夏季合宿予定は掲載していません。

懐かしい恩師、友人との再会を!!

第19回ホームカミングデー  
開催のご案内

平成25年10月20日(日)  
12:00より開催します

神奈川大学  
横浜キャンパス体育館にて



昨年の開催風景

当日クラス会等を予定される場合には教室が利用できます。代表の方は、名称・人数を予めホームカミングデー実施事務局までご連絡ください。

■神奈川大学  
ホームカミングデー実施事務局  
TEL 045-481-5661 (代)

## 平成25年度 課外活動支援特別奨学生決定

今年度のスポーツ課外活動支援特別奨学生が下記の通り決定しました。

■硬式野球部  
人間科学部人間科学科1年  
市嶋 高  
神奈川県出身  
人間科学部人間科学科1年  
兒玉 亮太  
長崎県出身

■陸上競技部  
人間科学部人間科学科1年  
芝 遼平  
高知県出身  
人間科学部人間科学科1年  
中神 恒也  
熊本県出身

箱根金時山のふもと、仙石原にあります箱根保養所は、卒業生の皆様(家族等同伴可)もご利用いただけますので、是非ご利用ください。  
平成24年4月にリニューアルオープンしております。

ご利用料金 宿泊1泊2食付き  
大人(中学生以上) 6,090円 子供(小学生) 2,625円

箱根保養所所在地 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町大字仙石原 1104-1  
TEL: 0460-84-9611

アクセス  
・バス利用の場合 小田原駅前/仙石經由湖尻行き仙石下車徒歩10分  
・お車利用の場合 東名高速道路/御殿場I.C.(国道138号線)より約20分  
・高速バス利用の場合 小田急高速バス箱根線新宿駅/太郎平下車徒歩1分  
直接箱根保養所へご連絡ください。

お申込み・お問い合わせ  
ご利用の詳細等につきましては、箱根保養所ホームページでご確認いただけます。  
URL: <http://www.jindai-hakone.com>

●リニューアルオープンしました!!

神奈川大学箱根保養所のご案内

